

経営比較分析表

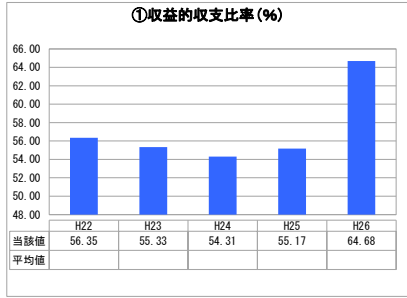
佐賀県 雄野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.02	100.00	2,700

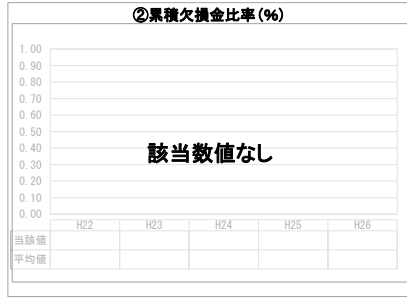
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,703	126.41	219.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6	0.01	600.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

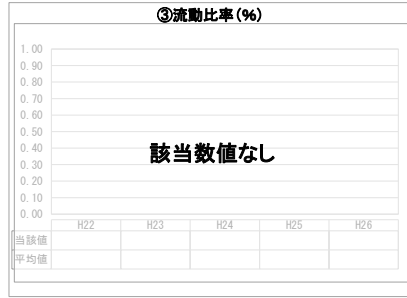
1. 経営の健全性・効率性



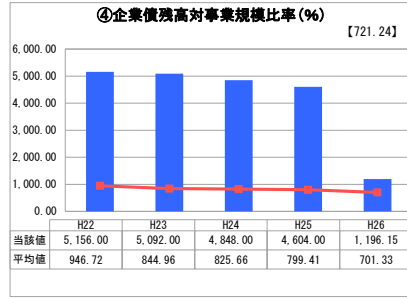
「単年度の収支」



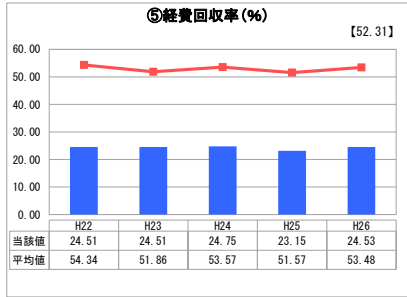
「累積欠損」



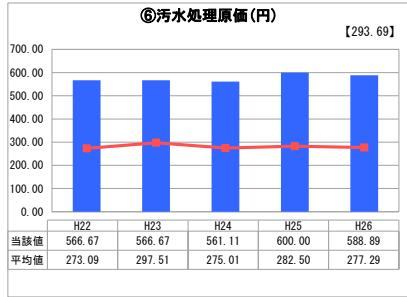
「支払能力」



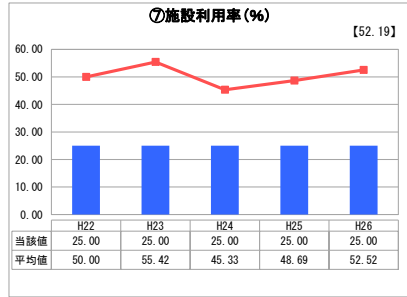
「債務残高」



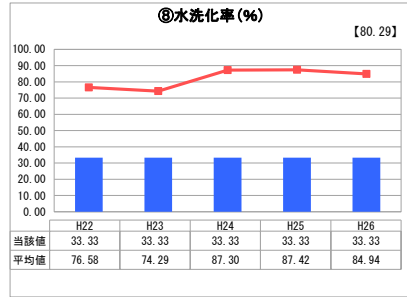
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

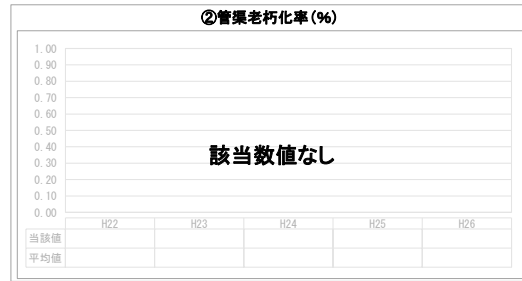


「使用料対象の捕捉」

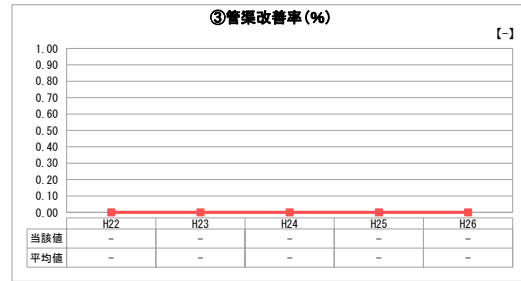
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率は、近年向上し、平成26年度は64.68%となっており、経常収支は赤字である。経常収益については、使用料以外の収入に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。
- ②累積欠損比率は、該当数値なし。
- ③流動比率は、該当数値なし。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体より高く推移している。平成26年度は大幅に改善されているが、料金の見直しにより更なる改善を目指す。
- ⑤経費回収率は、類似団体の平均値より著しく低くなっているため、業務の効率化、料金の見直し等による適正な使用料収入の確保が必要とされる。
- ⑥汚水処理原価は、類似団体より高く推移しており、施設の効率化を高めることが必要とされる。
- ⑦施設利用率は平均値より低く推移している。施設の効率を高めていくための検討が必要である。
- ⑧水洗化率は平均値を下回っている。今後も普及拡大に向けた広報等を行う。

2. 老朽化の状況について

- ①平成9年度から整備を行っており、管渠等の老朽化はまだ発生していない。

全体総括

現在、農業集落排水（個別排水処理を含む）と公共下水道の料金体系が異なるため、料金体系を統一する予定である。今後の適正な使用料の収入の確保、汚水処理費の削減等により、経営の改善を図りたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。